

## 令和3年度 全体会・講演会が開催されました。

令和4年3月27日（日）13：30～15：30 かわさき宙と緑の科学館にて  
令和3年度の全体会と、日本自然保護協会理事長・東京農工大学名誉教授  
亀山章先生の講演会が開催されました。



倉本会長より、川崎市生田緑地整備事務所 今井所長  
へ提言書の手渡し。



亀山章先生の講演の様子

### 令和3年度全体会プログラム

#### ◇第一部 開会のあいさつ 倉本会長

1. 『生田緑地ナラ枯れについての提言書』  
提言に至る背景、内容の説明と川崎市へ手渡し
2. 生田緑地80周年写真展の開催と緑の都市賞・活動  
助成金使用報告 138点の応募から12点の優秀賞と  
23点の佳作を選出。中央広場で写真展を開催。

#### ◇第二部 生田緑地写真コンクール表彰式と講演会

3. 受賞者への表彰状・副賞の授与・感想の一言
4. 講演会プログラム

#### ・講演会開会のあいさつ

#### 「緑化工と植生モニタリング」

- ・生物多様性に配慮した法面緑化工
- ・都市における在来種選定ガイドライン  
理論と理念と技術の3つの考え方があります。  
生物多様性は、理論でありものの見方に相当します。  
生物多様性の保全を目指すものが理念となります。  
技術はこれら理念などを実現化するためにあります。  
技術の積み重ねの裏付けのもとに、ガイドラインは  
存在するのです。

#### ・雑木林の植生モニタリング

日野市の3か所の雑木林の植生調査を40年間、毎年5月中旬に行った結果をまとめました。伐採などの外的影響も盛り込まれており、生田緑地の今後のあり方にもつながる参考事例となりました。  
日本自然保護協会理事長・東京農工大学名誉教授  
亀山章先生

#### ◇閉会のあいさつ 松岡副会長

### 生田緑地のナラ枯れ対策提言書（概要）

生田緑地では、コナラのなかまの大木1000本あまりがナラ枯れに罹患しています。これは、生田緑地の大半を占める雑木林（コナラ林）が過熟したことに伴う大きな変動で、ナラ枯れ時代における生田緑地の運営は大きく変わってきます。急速に進んだナラ枯れの大木を放置すると、台風来襲時などに深刻な災害を引きおこすことが予想され、取り急ぎの対策が必要です。当会議会員からもナラ枯れ対策の意見が上がってます。供用区域及び未供用区域の両区域において、ご検討をお願いします。

- 1) 倒木等が人の命にかかわるナラ枯れ樹木については緊急に対策を取ってください。
- 2) 住宅などの個人の財産に損害を与える危険のあるナラ枯れ樹木について緊急に対策を取ってください。
- 3) ナラ枯れの問題は生田緑地を中心に川崎市の広域にわたる問題ですから、ナラ枯れの理解と対策の周知に生田緑地のマネジメント会議及び自然環境保全管理会議とともに努めてください。

令和4年3月27日 生田緑地マネジメント会議  
会長 倉本 宣



生田緑地写真展 表彰式 受賞者の皆様のご感想の一言。

～生田緑地ビジョン基本理念（生田緑地のめざす将来像）～

豊かな自然・文化・人・まちが共に息つき 緑がつけられる持続可能な生田緑地の実現

●お問い合わせ先：生田緑地共同事業体 東ロビツタセンター TEL044-933-2300  
川崎市建設緑政局生田緑地整備事務所 TEL044-934-8577